

Produced by KATOKI HAJIME

ZEONOGRAPHY

EXPANDED EDITION OF GUNDAM FIX FIGURATION

#3006a

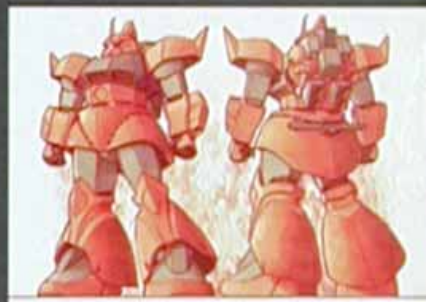
MS-14ゲルググは公認軍における新たな標準機として開発されたMSである。一部には、その総合性能は連邦軍の「ガンダム」をも凌駕しており、適性に配備されていたれば、一年戦争の結末は違っていたはずだったとすら思わせるスペックを達成していた。U.C.0079年の10月には、YMS-14 (MS-14Bとも)と呼ばれる先行量産型が25機ほどロールアウトし、そのうち1機はシヤ・アズナル大佐に、他の機体の多くはエース部隊に配備され実戦データが収集された。しかし、ビーム兵器の生産ラインが実施し始めたのが11月下旬であったためビーム・ライフルを装備できた機体は少なく、急速・水陸両用機やMA用のデバイスを転用したC型用バックパックなどが開発された。並行して若干の設計変更が施され、生産性向上のためスペックの水準には幅が設定された。これによりゲルググは、同時期に計画が進行していた他の機体の部材や既存の機体の転用などが可能となり、戦争末期であったにも関わらず、多くのバリエーションが存在することとなった。なかでも代表的なのが、急速用ブースターパックを追加装備した高機動型のBタイプで、「MS-14Bゲルググ高機動型」と呼ばれる。ノーマルのゲルググからの改裝は簡便で、背部のバネごとと換装するだけでゲルググは高機動戦闘に対応できたのである。この改裝は、C型との連携など、戦術的にも有効性が認められたため、後の本格的な量産型 (MS-14Aとされる) から改裝されたB、C型も存在する。

MS-14B

MS-14A



高機動型から量産型・キャンノタイプへの換装が可能。ビームライフル・360mmQケツキャンノが付属。



WHO is JOHNNY RIDDEN

キラリア・ザビ麾下の実験機部隊に所属。U.C.0066年、サイド3第一試験隊の五期生として生まれ、ジオン共和国家防衛軍に志願。兵学校を卒業後、MSパイロットとして配属された。初期機は量産型としてMS-09Cに搭乗。総くろくも機動隊において戦術的役割を担い、その功績により大尉に昇進。機体も00Fに乗り替えている。以来、単独の遠征を真紅と号し「真紅の騎乗」と呼ばれる。この機体色は少佐に昇進して後の00Fに、さらに戦争末期のMS-14Bにも継承されている。一年戦争の戦況を機軸とし、多数のゲルググ戦で戦果をあげている。アバオアター機動隊における戦況中に千行方となり、終戦中に昇進。以後の消息は不明である。

MS-14B/14A GELGOOG [JOHNNY RIDDEN]

PLANNING: PRINCIPALITY OF ZEON/ZEONIC
 ASSIGNMENT: PRINCIPALITY OF ZEON FORCE
 MODEL NUMBER: MS-14B
 HEIGHT: 19.6m
 HEAD HEIGHT: 19.2m
 EMPTY WEIGHT: 42.51
 FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 78.81
 GENERATOR OUTPUT: 1,440kw
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: 79,900kg (TOTAL)
 MATERIAL: SUPER HARD STEEL ARROY
 ARMAMENTS: TWIN BEAM SWORD
 BEAM RIFLE
 etc

PLANNING: PRINCIPALITY OF ZEON/ZEONIC
 ASSIGNMENT: PRINCIPALITY OF ZEON FORCE
 MODEL NUMBER: MS-14 (MS-14A)
 HEAD HEIGHT: 19.2m
 EMPTY WEIGHT: 42.11
 FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 72.31
 GENERATOR OUTPUT: 1,440kw
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: 61,500kg (TOTAL)
 MATERIAL: SUPER HARD STEEL ARROY
 ARMAMENTS: TWIN BEAM SWORD
 BEAM RIFLE
 etc

DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING: Takahashi Nobuhito
 FINISHING: Saji Chiharu
 COLORING: Saji Chiharu
 MARKING: Kanno Yuji (Jam)

PHOTOGRAPH: Takase Yoji (Takase Photo Office)
 EXPLANATION: Watanabe Toshihiro (SHINDOSHA)
 INSTRUCTION: Takahashi Masatomo
 COMMERCIAL DESIGN: Unno Daisuke (DASHAND)



MS-14C



データは作品中のものです。キャラクターの複製・イラストと商品とは、多少異なる場合がありますのでご了承ください。

六甲模型教材社本店